

帝塚山大学給付奨学金/後援会奨学金 受給願書(令和5年度)

記入例

経済経営 学部		経済経営 学部		3 年
学籍番号	E21000	フリガナ	テツカヤマ イチロウ	性別
氏名	帝塚山 一郎	(印)	男	女
携帯番号	000-0000-0000	生年月日	(西暦) 2002 年 9 月 1 日	(イイザレカニ) 家族と同居 別居

1. 家庭の経済状況について記入してください。(所得(課税)証明書に記載された金額を記入)
世帯収入者(同一生計の家族)の収入をすべて記入してください。

フリガナ	あなたから見た続柄	生年月日(西暦)	所得の種類(該当するものすべてにチェック)	昨年1年間の所得金額(複数ある場合はすべて記入)	学生生活課記入欄
テツカヤマ タロウ	父	19 00 年 00 月 00 日	☒ 給与所得 ☐ 給与所得以外 ☐ 無職(無収入)	円 1,360,000	
テツカヤマ ハナコ	母	19 00 年 00 月 00 日	☒ 給与所得 ☐ 給与所得以外 ☐ 無職(無収入)	円 2,112,000	
帝塚山 花子	その他	年 月 日	☐ 給与所得 ☐ 給与所得以外 ☐ 無職(無収入)	円	
	その他	年 月 日	☐ 給与所得 ☐ 給与所得以外 ☐ 無職(無収入)	円	

2. 上記1.に記入した世帯収入者(同一生計の家族)以外の人について記入してください。(所得税の控除対象親族)

氏名	設置者区分	在学している学校種別と学年	通学形態
弟 帝塚山 学	国立(公立)私立	小学校 中学校 高校 専門 大学 3 年	自宅 自宅外
祖母 帝塚山 奨子	国立・公立・私立	小学校 中学校 高校 専門 大学 年	自宅・自宅外
	国立・公立・私立	小学校 中学校 高校 専門 大学 年	自宅・自宅外
	国立・公立・私立	年	自宅・自宅外
	国立・公立・私立	年	自宅・自宅外

家族全員(①の全員+②の全員+あなた)の人数 5 人

3. その他 確認事項	回答	追加に必要な書類
母子家庭または父子家庭である。	はい ☒ いいえ	
生活保護世帯である。	はい ☒ いいえ	生活保護決定(変更)通知書のコピー
世帯収入者が雇用保険基本手当(失業手当)を受給している。	はい ☒ いいえ	雇用保険受給資格者証のコピー(表裏両面)
本人を含む家族の中に障害のある人がいる。	はい ☒ いいえ	身体障害者手帳等のコピー
⇒「はい」と答えた人は、その人数を記入してください。	(人)	
世帯収入者が単身赴任等で別居している。	はい ☒ いいえ	現在、別居が確認できる書類 費用に係る領収書のコピー(別居者の氏名記載がないレシート等は不可) ※領収書の代わりとして通帳を提出する際は、その請求書・契約書も併せて添付すること
⇒「はい」と答えた人は、別居による家賃・光熱・水道・家具・家用品の年間実費を記入してください。別居が1年に満たない場合は領収書等から年間の実費を推算し、その計算式を添付してください。	(38 万円)	
家族の中に6か月以上わたり療養中の人または療養を必要とする人がいる。	はい ☒ いいえ	現在、療養中を確認できる書類 医療費等の領収書のコピー (長期療養者の氏名記載がない領収書は不可)
⇒「はい」と答えた人は、1年間の支出金額を記入し、その計算式を添付してください。	(万円)	
この1年間に震災、火災、風水害または盗難などの被害を受けた。	はい ☒ いいえ	被害を受けたことの証明書(被災証明書等) 支出の増加額または収入の減少額の算出の額となる書類(被害により生じた実費を証明する領収書のコピー等) ※保険・損害賠償等により補てんされた金額は対象外
⇒「はい」と答えた人で、長期(2年以上)にわたって支出の増加または収入の減少がある(見込まれる)場合は、1年間の支出金額を記入してください。	(万円)	
1年未満の場合は、年間の実費を推算し、その計算式を添付してください。		

★ 学生本人が黒または青のボールペンで記入する (消せるボールペン・シャープペン不可)

★ 出願者は、必ず押印してください (押印がないものは無効)

★ 所得証明書(課税証明書)は、扶養家族の人数の記載があるものをご提出ください。
※源泉徴収票・確定申告書等は審査書類対象外

⚠ 給与所得者は「給与・年金収入金額」を、給与所得者以外は「営業・農業・不動産等所得金額」を記入してください。

令和5年度 市民税県民税所得・課税証明書

賦課期日現在 住所 帝塚山市東生駒7-1-111 氏名 帝塚山 太郎 (単位:円)

令和3年中の所得等の状況です。

所得金額の内訳			
(給与収入金額)	()	以下余白	以下余白
給与所得	0円		
営業所得	1,360,000円		
以下余白	以下余白		
合計所得金額			

所得控除の内訳			
配偶者控除 及び 扶養控除	配偶者 有 1 人 一般 1 人	特定 1 人 老人(内同居) * 人 (* 人) 特別障害(内同居) * 人 (* 人)	本人 該当事項 寡婦(寡夫) 特定寡婦 勤労学生 基礎控除
配偶者特別控除			
医療費控除			
社会保険料控除			
小規模企業共済等掛金控除			
生命保険料控除			
地震保険料控除			
所得控除額合計		課税標準額合計	
所得割		所得割	
年税額	****	市民税 均等割	****
備考			

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和5年 0月 0日 帝塚山市長 印

令和5年度 市民税県民税所得・課税証明書

賦課期日現在 住所 帝塚山市東生駒7-1-111 氏名 帝塚山 花子 (単位:円)

令和3年中の所得等の状況です。

所得金額の内訳			
(給与収入金額)	(2,112,000)	以下余白	以下余白
給与所得	1,298,400円		
営業所得	0円		
以下余白	以下余白		
合計所得金額			

所得控除の内訳			
配偶者控除 及び 扶養控除	配偶者 無 1 人 一般 1 人	特定 1 人 老人(内同居) * 人 (* 人) 特別障害(内同居) * 人 (* 人)	本人 該当事項 寡婦(寡夫) 特定寡婦 勤労学生 基礎控除
配偶者特別控除			
医療費控除			
社会保険料控除			
小規模企業共済等掛金控除			
生命保険料控除			
地震保険料控除			
所得控除額合計		課税標準額合計	
所得割		所得割	
年税額	****	市民税 均等割	****
備考			

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和5年 0月 0日 帝塚山市長 印

扶養人数が記載されているか確認し、記載がなければお住いの市区町村役場へご相談ください。
(世帯収入者が2名いる場合は、どちらかに扶養人数が記載されています)

「3. その他 確認事項」に該当し、証明書類が提出できる場合は、それぞれの項目で特別控除を受けることができます。

★ 「雇用保険受給資格者証」のコピーは、表裏両面を必ずご提出ください。(塗りつぶし・隠し等不可)

★ 身体障害者手帳等のコピーは、氏名等が記載されている部分(期限切れでないもの)をご提出ください。

★ 単身赴任等(別居)が確認できる書類と、別居者の氏名がある領収書のコピーをご提出ください。(上限71万円)
※別居が1年未満の場合は、年間実費を推算した計算式(任意様式)を添付してください。
※引越代、食費、駐車場代、ガソリン代、帰省交通費、通信・電話代、NHK受信料・新聞代等は対象外

★ 療養中を確認できる書類と、長期療養者の氏名がある領収書のコピーをご提出ください。

※1年間の支出金額の計算式(任意様式)を添付してください。
※健康保険等によって医療給付を受ける金額および損害賠償等によって補てんされる金額は対象外

★ 罹災証明書、盗難届の証明書(届出受理番号等)と、被害により生じた実費を証明する領収書のコピーをご提出ください。
※増減発生から1年未満の場合は、年間実費を推算した計算式(任意様式)を添付してください。

4. 「給付奨学金」「後援会奨学金」を申請するに至った家庭事情や、特に説明を要することを具体的に記入してください。

家計の収入が少ない・厳しい理由・原因等、
詳しい家庭事情・経済的事情を記入してください。
(なぜ家計が厳しいのか、どうして収入が少ないのかを
具体的に記入してください)

【具体的に書けていない例】

私が大学生で高校生の弟もいるため、家族5名では家計が厳しいです。

5. 学業の達成状況について（単位修得のために特に頑張っていることなどを具体的に記入してください。）

本人が学業で頑張っている(頑張った)こと、また、
修得した科目に対して得た評価や取得した資格など、
学業の達成状況(予定)について記入してください。

6. 奨学金を受けることにより、学生生活を充実させるために取り組む内容などを具体的に記入してください。

支給された給付奨学金を活用して、どのようなこと
に取り組もうと考えているか詳しく記入してください。

※採用後の奨学金振込みは年末となります。3月に卒業を控えた4年生は、
特にこの項目をしっかりとめてください。



受給願書に記入した内容に相違ないことを誓約します。

必ず  を入れてください

※提出された願書・書類で審査をしますので、書類に不備や不足があっても連絡はいたしません。

＜大学記入欄＞ ※下記項目は記入しないでください。

- | | | | | |
|-------------------------------------|--|----|---|--|
| ☐ 日本学生支援機構 | 貸与奨学金（第一種） | 月額 | 円 | |
| ☐ 日本学生支援機構 | 貸与奨学金（第二種） | 月額 | 円 | |
| ☐ 日本学生支援機構 | 給付奨学金（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ区分） | 月額 | 円 | |
| ☐ その他（特待生制度） | ：創立50周年記念特待生制度 ・ 全商検定特別推薦特待生制度 ・ スポーツ特待生制度 | | | |

} ※募集対象外